

----->>>
JPA事務局ニュース <No.135> 2014年5月13日
----->>>

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)事務局
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆難病法案・小慢改正法案、参議院で審議入り

14日に参考人質疑（JPA伊藤代表理事、難病のこども支援全国ネットワークの福島常務理事らが陳述）

参議院での審議は、14日の参考人質疑から始まります。

審議日程は次のとおりです。

(1) 難病の患者に対する医療等に関する法律案 (13時～15時)

○参考人の意見陳述 (発言時間各15分)

伊藤建雄氏 (一般社団法人日本難病・疾病団体協議会代表理事) 13:00～13:15

福永秀敏氏 (公益社団法人鹿児島共済会南風病院院長) 13:15～13:30

福田富一氏 (全国知事会社会保障常任委員会委員長、栃木県知事) 13:30～13:45

○参考人に対する質疑 (質問時間各10分)

滝沢 求議員 (自民) 13:45～13:55

津田弥太郎議員 (民主) 13:55～14:05

長沢広明議員 (公明) 14:05～14:15

東 徹議員 (維結) 14:15～14:25

山口和之議員 (みんな) 14:25～14:35

小池 晃議員 (共産) 14:35～14:45

福島みずほ議員 (社民) 14:45～14:55

(2) 児童福祉法の一部を改正する法律案 (15時～17時)

○参考人の意見陳述 (発言時間各15分)

福島慎吾氏 (認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク常務理事) 15:00～15:15

五十嵐隆氏 (独立行政法人国立成育医療研究センター理事長・総長) 15:15～15:30

鈴木康友氏 (指定都市市長会副会長、浜松市長) 15:30～15:45

○参考人に対する質疑 (質問時間各10分)

滝沢 求議員 (自民) 15:45～15:55

小西洋之議員 (民主) 15:55～16:05

長沢広明議員 (公明) 16:05～16:15

東 徹議員 (維結) 16:15～16:25

薬師寺みちよ議員 (みんな) 16:25～16:35

小池 晃議員 (共産) 16:35～16:45

福島みずほ議員 (社民) 16:45～16:55

◎審議は、15日(木)10時から6時間、20日(火)10時から6時間の審議日程が決まっています。

◎傍聴を希望される方は、それぞれの審議日の前日、夕方16時までに、メールでJPA事務局までフルネームと所属を明記してご連絡ください。

集合は、審議開始時間の30分前に、参議院議員面会所に集合です。

◎インターネットでも中継されます。

参議院インターネットTV <http://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>

◎衆議院での審議の公式議事録が公表されています。

http://www.shugiin.go.jp/internet/itdb_rchome.nsf/html/rchome/News/kourou186.htm

☆選択療養制度(仮称)に、がん患者有志23団体が反対声明!

規制改革会議がすすめようとしている選択療養制度の創設に、がん患者の団体も反対の意思表示をしています。

この制度案については、混合診療の事実上の解禁につながるとして、JPAは4月3日にいち早く反対の意思表示を行っていますが、がん患者の団体有志も4月15日、田村厚生労働大臣と岡規制改革会議議長宛に、反対する要望書を提出しています。

<http://www.group-nexus.org/nexus/modules/news/article.php?storyid=597>

当事者の患者団体からも、医師会からも、保険者からも、病院協会からも見離されたこの案。政府内でも、厚生労働省も混合診療原則禁止の立場からこの案に抵抗していません。しかし、政府は6月の規制改革実施計画のなかに組み込む考えを依然として変えていないことから、予断を許しません。

難病法ができてこれから総合対策へという時期に、保険給付の縮小、保険外負担の増大、医療不信の助長などのことが何よりも危惧されます。

☆入院時の食費負担の引き上げ、大病院の初診料に「全額自費負担」を導入??

新聞報道によると、厚生労働省は入院患者が支払う食事代や部屋代の引き上げを検討しており、食事代は現在の260円から460円に上げる案が有力とのこと。食費は全額本人負担が原則の「介護施設との不公平感をなくす」狙いもあるとのこと。

また、厚生労働省は紹介状を持たずに大病院を受診した患者に新たな負担金を求める制度を検討中で、全額自費負担との案も出ており注意が必要です。

----- (JPA事務局長 水谷幸司) -